

昭和大学内科

江東豊洲病院

東京湾岸エリアで内科一般研修と Subspecialty 研修を両立して行う

本プログラムは東京都の昭和大学江東豊洲病院を基幹施設として、昭和大学附属病院群、東京都東地区医療圏、近隣医療圏、また東京・神奈川以外の医療圏を守備範囲とし、必要に応じた、地域の実情に合わせた実践的な医療も行うように指導します。研修期間は基幹施設2年間+連携施設1年間の3年間です。

本プログラムでは専攻医が抱く専門医像や将来の希望に合わせて、①内科基本コース、② Subspecialty (各科) 重点コース (1年型)、③ Subspecialty 重点コース (2年型)、④ Subspecialty 重点コース (複合型) を準備していることが最大の特徴です。コース選択後も条件を満たせば別のコースへの移行も認められます。Subspecialty 重点コースでは3年間のプログラムのうち2年間に Subspecialty 研修に費やすことができ、内科専攻医の研修が1年経過した時点から Subspecialty 研修として登録可能となっています。例えば Subspecialty が消化器内科の場合は内科専攻医の研修症例を J-OSLER に登録し、1年経過後には消化器疾患登録を J-OSLER-G に登録していきます。新専門医制度が開始された2018年度に採用した当プログラムの内科専攻医6人は全員が Subspecialty 重点コース (2年型) でしたが、2021年春に全員が修了認定され、かつ内科専門医試験に全員合格しております。安心して応募してください。



専門医、指導医、施設認定、関連施設

各種学会認定専門医数

日本内科学会指導医	27名	日本糖尿病学会糖尿病専門医	3名
日本内科学会総合内科専門医	30名	日本肝臓学会肝臓専門医	7名
日本内科学会内科医専門医(新制度)	6名	日本アレルギー学会アレルギー専門医	2名
日本消化器病学会消化器病専門医	17名	日本リウマチ学会リウマチ専門医	2名
日本循環器学会循環器専門医	8名	日本内視鏡学会専門医	13名
日本呼吸器学会呼吸器専門医	4名	日本胃腸科学会胃腸科専門医	6名
日本神経学会神経専門医	1名	日本透析医学会専門医	3名
日本腎臓学会腎臓専門医	2名	日本脳卒中学会専門医	1名
日本心臓インターベンション治療学会専門医	5名	日本心臓病学会専門医	2名
日本不整脈心電図学会不整脈専門医	2名	日本超音波学会超音波専門医	1名

※基幹施設の専門医・指導医数

(指導医を含む)

専門研修指導医数

日本内科学会指導医	27名
日本内科学会総合内科専門医	30名

各種学会施設認定

- ・日本内科学会認定医制度教育施設「大学病院」
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本消化管学会胃腸科指導施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本食道学会全国登録認定施設
- ・日本胆道学会認定指導医制度指導施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本不整脈心電図学会認定不整脈専門医研修施設
- ・日本神経学会教育施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本透析医学会認定施設
- ・日本高血圧学会認定施設
- ・日本アフェレシス学会施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本肝臓学会認定施設日本心臓インターベンション治療学会
- ・日本心臓病学会
- ・日本不整脈心電図学会
- ・日本超音波学会など





研修実施責任者
内科学講座 消化器内科学部門
教授 伊藤 敬義

プログラム名 昭和大学江東豊洲病院内科プログラム
研修期間 3年

問い合わせ先

担当者 消化器内科 伊藤 敬義
TEL 03-6204-6721
FAX 03-6204-6998
E-mail tito@med.showa-u.ac.jp

主な専門研修連携施設

基幹病院：昭和大学江東豊洲病院 連携施設：昭和大学病院、藤が丘病院、横浜市北部病院、関東労災病院、がん研有明病院、河北総合病院、日本鋼管病院、あそか病院、会津中央病院、いまきいれ総合病院、荏原病院、小田原市立病院、菊名記念病院、ひたち医療センター、富士吉田市立病院、山梨赤十字病院、大分大学医学部附属病院、上都賀総合病院、亀田総合病院、神戸労災病院、彩の国東大宮メディカルセンター、静岡赤十字病院、白河厚生総合病院、東京女子医科大学八千代医療センター、徳島赤十字病院、獨協医科大学埼玉医療センター、長野赤十字病院、ひたちなか総合病院、弘前大学医学部附属病院、福島県立医科大学附属病院、南長野医療センター篠ノ井総合病院、小山記念病院、飯塚病院

特別連携施設：東京都済生会向島病院、洛和会音羽病院、独立行政法人国立病院機構静岡医療センター、公益財団法人湯浅報恩会寿泉堂総合病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、医療法人社団誠馨会新東京病院、東京ベイ・浦安市川医療センター、医療法人崇徳会長岡西病院、兵庫県立淡路医療センター、日鋼記念病院、岩手医科大学附属病院、鶴岡市立庄内病院、大宮中央総合病院、浜野長嶋病院、医療法人青仁会池田病院



専攻医育成コースの概略

医学部卒業後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
内科基本コース	臨床研修		基幹病院・各科3か月ごと研修 連携病院 2～3か月ごと研修			希望科入局	

病歴提出・内科専門医取得

サブスペシャリティ専門医コース

大学院コース 4年

医学部卒業後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
Subspecialty 重点コース1年型	臨床研修		基幹病院・各科2か月ごと研修 (Subspecialty開始時 4か月、後半8か月) 連携病院・2か月ごと研修			希望科入局	

病歴提出・内科専門医取得

サブスペシャリティ専門医コース

大学院コース 4年

医学部卒業後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
Subspecialty 重点コース2年型	臨床研修		基幹病院・各科1～2か月ごと研修 (Subspecialty開始時6か月、後半12か月) 連携病院・2か月ごと研修 (Subspecialty 6か月)			希望科入局	

病歴提出・内科専門医取得

サブスペシャリティ専門医コース

大学院コース 4年

医学部卒業後年数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
Subspecialty 重点コース複合型	臨床研修		基幹病院・各科3か月ごと研修 (Subspecialty開始時6か月、後半12か月) 連携病院・2～3か月ごと研修 (Subspecialty 6か月)			希望科入局	

病歴提出・内科専門医取得

サブスペシャリティ専門医コース

大学院コース 4年

各コースの詳細

- 1 内科専攻医は2年間の臨床研修後に設けられた専門研修（専攻医研修）3年間の研修で育成されます。
 - 2 専門研修の3年間は、それぞれ医師に求められる基本的診療能力・態度・資質と日本内科学会が定める「内科専門研修カリキュラム」にもとづいて内科専門医に求められる知識・技能の修得目標を設定し、基本科目修了の終わりに達成度を評価します。具体的な評価方法は後の項目で示します。
 - 3 臨床現場での学習：日本内科学会では内科領域を70疾患群（経験すべき病態等を含む）に分類し、代表的なものについては病歴要約や症例報告として記載することを定めています。日本内科学会専攻医登録評価システムへの登録と指導医の評価と承認とによって目標達成までの段階をuptodateに明示することとします。各年次の到達目標は以下の基準を目安とします。
- 専門研修1年
- ・症例：カリキュラムに定める70疾患群のうち、20疾患群以上を経験し、J-OSLERに60例登録することを目標とします。
 - ・技能：疾患の診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を指導医とともに行うことができるようにします。
 - ・態度：専攻医自身の自己評価、指導医とメディカルスタッフによる360度評価とを複数回行って態度の評価を行い担当指導医がフィードバックを行います。
- 専門研修2年
- ・疾患：カリキュラムに定める70疾患群のうち、通算で45疾患群以上を（できるだけ均等に）経験し、J-OSLERに120例症例登録し、病歴要約29例を登録することを目標とします。
 - ・技能：疾患の診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を指導医の監督下で行うことができるようにします。

- ・態度：専攻医自身の自己評価、指導医とメディカルスタッフによる360度評価を複数回行って態度の評価を行います。専門研修1年次に行った評価についての省察と改善とが図られたか否かを指導医がフィードバックします。
- 専門研修3年
- ・疾患：主担当医として、カリキュラムに定める全70疾患群、計200症例の経験を目標とします。ただし、修了要件はカリキュラムに定める56疾患群、そして160症例以上（外来症例は1割まで含むことができる）とします。この経験症例内容を専攻医登録評価システムへ登録します。すでに登録を終えた病歴要約は、日本内科学会病歴要約評価ボード（J-OSLER）による査読を受けます。
 - ・技能：内科領域全般について、診断と治療に必要な身体診察、検査所見解釈、および治療方針決定を自立して行うことができるようにします。
 - ・態度：専攻医自身の自己評価、指導医とメディカルスタッフによる360度評価を複数回行って態度の評価を行います。専門研修2年次に行った評価についての省察と改善とが図られたか否かを指導医がフィードバックします。また、基本領域専門医としてふさわしい態度、プロフェッショナリズム、自己学習能力を修得しているか否かを指導医が専攻医と面談し、さらなる改善を図ります。
- サブスペシャリティ専門医コースは各専門医機構によって開始時期は異なりますが、内科専攻医研修と同時に研修可能です。例えば消化器病専門医研修では内科専攻医開始1年経過時期に登録可能で、J-OSLER-Gを用いた症例の登録を並行して行っていきます。連携病院の研修先として東京・神奈川以外の医療圏の病院を6か月単位で計1年間研修をします。その間、一般内科研修とサブスペシャリティ研修のどちらを選択することも可能です。



プログラムの魅力

専攻医の1週間（大学病院の例）

	月	火	水	木	金	土	日
7:45-8:30		教授回診		症例検討会			
8:30-9:00	病棟回診	医局会	病棟回診	病棟回診	病棟回診		
午前	外来	腹部超音波検査	腹部超音波検査	上部消化管内視鏡検査	超音波内視鏡検査	救急外来	救急外来
午後	腹部血管造影	ERCP	下部消化管内視鏡検査	救急外来	肝生検・ラジオ波焼灼療法	(月1回程度・当番制)	(月1回程度・当番制)
夕方	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診		
		症例検討会					
	上部消化管疾患カンファレンス	下部消化管疾患カンファレンス			肝胆膵疾患カンファレンス		
		消化器疾患合同カンファレンス(月1回)					

昭和大学江東豊洲病院は循環器センター、消化器センター、脳血管センター、救急センターおよび内科系診療センターを有する総合病院であり、連携施設として循環器、消化器、神経疾患および呼吸器疾患をはじめとする内科系疾患全般にわたっての診断と治療の基礎から、より専門的医療を研修できます。また専門医療のみではなく、主担当医として、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践できる内科専門医をめざせるように教育に力をいれています。また内科専攻医研修とサブスペシャリティ専門医研修を同時に行えます。例えば消化器病専門医

に必要な症例登録は内科学会のJ-OSLERと同じシステムを用いたJ-OSLER-Gを用いて症例登録を行います。この症例登録は内科専攻医研修1年経過した時点で登録可能で、内科専攻医研修と並行して行うことができます。また各科に多くの内科指導医があり、マンツーマン指導で症例の選択、J-OSLER登録指導、病歴要約の添削、また3年間で2回必要な学会・論文発表の指導を行います。内科専攻医1期生は6人全員が内科専門医に合格しました。2019年採用の2期生も6人全員が研修終了し、5月の内科専門医試験を受験しています。

専攻医からのメッセージ



2020年度専攻医
昭和大学江東豊洲病院
内科プログラム
昭和大学江東豊洲病院
循環器内科

森村 光幸

関西医科大学卒業
昭和大学江東豊洲病院
臨床研修修了

入局してから忙しい毎日ですが、自分の成長を実感でき充実した日々を過ごしています。当院のプログラムは所属こそ江東豊洲病院ですが、ほかの昭和大学附属病院や関連病院とも繋がりがあり活発に交流があります。もちろん内科専攻医に必要な症例は経験できますが、他病院の幅広い世代の先生方と出会えるのも当プログラムの魅力だと思います。指導医の多い大学病院でさまざまなことにチャレンジしてみるのはいかがでしょうか。

経験症例

【循環器内科】一般的な虚血性心疾患や不整脈などはもちろん、弁膜症についてはTAVIやMitral Clipのような最先端の治療も経験できます。必要に応じて他科をローテートできるため、あらゆる症例を経験できます。



2020年度専攻医
昭和大学江東豊洲病院
内科プログラム
昭和大学江東豊洲病院
消化器内科

嘉数 朝亮

聖マリアンナ医科大学卒業
東京医科歯科大学病院
臨床研修修了

江東豊洲病院消化器内科プログラム、専攻医3年目の嘉数朝亮と申します。現在は地域研修の一環で、亀田総合病院消化器内科にて研修をしております。当院消化器内科の魅力としては、とにかく上の先生方の面倒見が良いことだと思います。分からないことや相談したいことがあれば遠慮をせず疑問を解決することができますし、また内科外科合同の消化器センターであるため外科の先生にもシームレスに患者さんを紹介できる環境があります。また上級医の先生方の手厚いご指導のもと、消化器病学会関東地方会で専攻医奨励賞をいただくことができ、非常に良い経験を積ませていただきました。今とても勢いのある当院の消化器内科と一緒に働けることを楽しみにしています。

経験症例

【消化器内科】消化器悪性腫瘍に対する診断・治療および、消化性潰瘍や肝硬変、胆石疾患、膵炎などの common disease に対するアプローチを主体的に学ぶことができます。また、若手でも早い時期から内視鏡に触れ、技術を高めることができます。



2021年度専攻医
昭和大学江東豊洲病院
内科プログラム
昭和大学江東豊洲病院
消化器内科

岡田 幸子

東京女子医科大学卒業
東京女子医科大学
東医療センター
臨床研修修了

私は東京女子医科大学を卒業し、臨床研修は東京女子医科大学東医療センターで行いました。今まで昭和大学とはまったく関係がなかったのですが、見学して消化器内科と消化器外科が一つのセンターとして垣根がないことに魅力を感じ、また雰囲気よさに惹かれ入局を決めました。入局してからは1人当直があるなど研修医の時とは違う責任感と緊張と不安でいっぱいですが、外科でも内科でもいつでもすぐに相談でき、丁寧に指導いただける環境にとっても恵まれています。そして、内科といえばJ-OSLERですが昭和大学のプログラムでは1年間、他科をローテーションさせていただき症例集めをできまし、指導医の先生方がしっかり見てくださるので安心です。

経験症例

【消化器内科】消化器内科は肝胆膵班、大腸班、上部班と3つの班に分かれています。胆管炎や膵炎悪性腫瘍、腸炎など一般的な疾患を幅広く経験でき、さらに食道アカラシアや食道憩室といっためずらしい症例も経験することができます。



2021年度専攻医
昭和大学江東豊洲病院
内科プログラム
昭和大学江東豊洲病院
消化器内科

伊藤 翔太郎

昭和大学卒業
昭和大学江東豊洲病院
臨床研修修了

消化器センターの内科専攻医をさせていただいております。臨床研修中に当センターの先生方の人柄に惹かれ、3年目以降も研修継続することを決めさせていただきました。当院の消化器センターは外科と内科の垣根を取り払った環境が特徴で手技・治療方針を両方の側面から学ぶことができる数少ない施設です。豊洲という街自体も発展目覚ましく今後も期待ができる働いて楽しい環境です。皆さまと働くことを心待ちにしております。

経験症例

アカラシアを中心とした食道良性疾患で当院の名前を聞く方も多いと思いますが、ERCP、EUSなどの肝胆膵領域の内視鏡も充実しております。超音波内視鏡下胆道ドレナージなど、大学病院だからこそできる高難易度手技を行う症例に携わることが可能です。



内科系診療センター



脳神経センター



循環器センター



消化器センター